

笑顔のために



令和5年12月1日発行
議会だより
No.432

表紙説明は裏表紙をご覧ください

目次

目次

- 01 表紙
- 02 目次／LINE友だち追加のご案内など
- 03 9月定例会の流れ
- 04 9月定例会議決結果
- 05 討論
- 06 決算審査特別委員会
- 10 議会運営委員会／常任委員会
- 12 一般質問の目次
- 13 一般質問(19人)／2月定例会の予定
- 23 近江八幡市議会との親善／寄附行為の禁止
- 24 表紙の説明／編集後記など

あなたの声をおまちしています

- 議会での質疑や議会だよりの内容等、ご意見・ご質問をお寄せください。
- 議場傍聴席のアンケート用紙、郵便、メール等でご意見おまちしています。

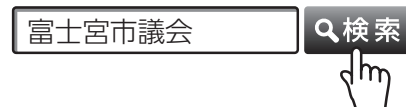
アンケート用紙 → 傍聴席アンケート回収箱に
郵便 → 〒418-8601 富士宮市弓沢町150番地
メール → c-jimu@city.fujinomiya.lg.jp



議会を『ネット』で見よう！

- 本会議のインターネット映像を配信しています。「録画映像」と「ライブ中継」の2種類です。
- 下のQRコードからインターネット中継・会議録検索システムが、スマホやタブレットから見られます。

※インターネット中継の
配信内容は、公式記録では
ありません。



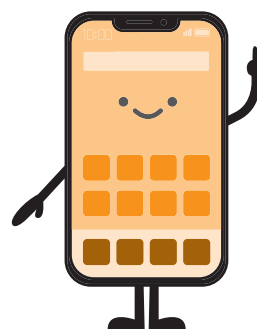
議会だより電子版のご案内

富士宮市ホームページから、議会だより電子版(PDF版)を見ることができます。バックナンバーも格納していますので、是非ご利用ください！



富士宮市LINE友だち追加のご案内

市公式LINEにて議会に関する情報を発信しています。議会の定例会、その他のイベントなどを投稿しています。



9月定例会では議案審議や一般質問に加え、前年度（令和4年度）決算を審査する「決算審査特別委員会」が行われました。

9/12

**開会
提案理由説明** ※1



9/14

**議案審議
審査付託** ※2

チェック!P4

議案（条例の一部を変えることや令和5年度補正予算など）について審議し議決しました。

決算審査特別委員会とは、前年度（令和4年度）の市の決算内容を審査するための委員会です。過去のことを審査するため、支出済みのものや契約等を取り消すことはできませんが、不適切なものや非効率なものがあれば、市への質疑を通して明らかにし、今後の改善につなげていただくことを目的としています。

付託された案件について、常任委員会では詳しく調査検討をしました。それ以外にも常任委員会は、所管事務調査※3を行うこともできます。

9/15、
19、20

**常任委員会
開催**

チェック!P10・11

9/28、29

**決算審査
特別委員会**

チェック!P6～9

一般質問とは、議案とは別に、議員が市の事業全般について執行状況や将来の考え方などを問い、適切に進んでいるかをチェックするものです。また、議員は活発に市に対し提言を行います。

常任委員会に付託された案件を含め、その他の議案について、審議し議決しました。

10/10
～13

一般質問

チェック!P12～22



10/13

**閉会
議案審議**

チェック!P4



用語 解説



- ※1… 市が市議会に対して、提出議案の説明を行うことです。
- ※2… 一部の議案については、より詳しく審査を行うため、所管の常任委員会に審議を託します。この託す行為を“付託”といいます。
- ※3… 所管する事務について任意に調査することを、“所管事務調査”といいます。富士宮市議会には、所管する事務に応じて3つの常任委員会（総務文教、環境厚生、産業都市）が組織されています。→10、11ページをご参照ください!

9月定例会 議案審議結果

議案番号	件名	議決結果
報第16号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	報告済
報第17号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	〃
報第18号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	〃
報第19号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	〃
報第20号	富士宮市土地開発公社の令和4年度事業決算の報告について	〃
報第21号	公益財団法人富士宮市振興公社の令和4年度事業決算の報告について	〃
報第22号	令和4年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	〃
認第1号	令和4年度富士宮市歳入歳出決算認定について	認定 賛成多数
認第2号	令和4年度富士宮市水道事業決算認定について	認定 全会一致
認第3号	令和4年度富士宮市下水道事業決算認定について	〃
認第4号	令和4年度富士宮市病院事業決算認定について	〃
議第49号	令和4年度富士宮市水道事業剰余金の処分について	原案可決 全会一致
議第50号	令和4年度富士宮市下水道事業剰余金の処分について	〃
議第51号	富士宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	〃
議第52号	富士宮市火災予防条例の一部を改正する条例制定について	〃
議第53号	富士宮市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃
議第54号	富士宮市職員の修学部分休業に関する条例制定について	〃
議第55号	富士宮市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例及び富士宮市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃
議第56号	富士宮市宮万野住宅建設工事E棟工区(建築工事)請負契約の締結について	〃
議第57号	富士宮市立富士見小学校屋内運動場改築工事請負契約の締結について	〃
議第58号	富士宮市役所庁舎高圧受電設備更新工事請負契約の締結について	〃
議第59号	令和5年度富士宮市一般会計補正予算(第4号)	原案可決 賛成多数
議第60号	令和5年度富士宮市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決 全会一致
議第61号	令和5年度富士宮市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	〃
議第62号	令和5年度富士宮市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	〃

※報＝市からの報告、認＝決算の認定、議＝条例・予算・契約などの議案 の略。

※議案番号は、令和5年2月定例会からの通し番号。

※詳しくは市議会事務局（電話22-1191）までお問い合わせください。

【賛否が分かれた議案】		○は賛成。×は反対。																						
議案・結果	議員名 (議席番号順)	近藤千鶴	岩村恵美	仲島恭平	平下尚己	赤池弘源	中野健太郎	齋藤和文	山藤陽子	稲葉晃司	白井忠紀子	佐野和彦	小松快造	辻村岳瑠	芦澤秀典	佐野寿夫	望月芳将	渡辺佳正	鈴木弘	植松健一	村瀬旬	諏訪部孝敏	佐野和也	
		認第1号	令和4年度富士宮市歳入歳出決算認定について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第59号	令和5年度富士宮市一般会計補正予算(第4号)	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○

※議長は表決に加わりません

認第1号 令和4年度富士宮市歳入歳出決算認定について、審議した結果、賛成多数により認定されました。審議の中で、賛成討論と反対討論が行われたので、討論内容を以下のとおり掲載します（掲載は討論順）。

【反対討論】 近藤千鶴議員

新型コロナウイルスワクチン接種事業のみに反対です。

12歳から64歳までの年代層の方の接種率は1回目は85%、5回目は8.6%、6回目は2.4%でした。62歳以下の方は、最初はほとんどの方が接種していましたが、5回目、6回目は接種していないことが決算の中ではっきりしました。

今まで、ワクチンを接種する、しない、マスクをする、しないで私たち国民は分断されてきたような気がします。

今後も新たなウイルスの出現を考慮しますと、今回の経験を生かし、お互いを尊重し、人権を守りつつ、健康に対する取組を進めていくことが重要だと考えます。

【賛成討論】 中野健太郎議員

会派、富岳会、公明会、明和を代表しての賛成討論です。

経済の下振れ要因が顕在化する中、概ね適切な予算執行がなされたと判断し、市民のための積極的な取組がなされたことと評価します。

財政指標をみると、現在と将来の負担バランスを念頭に置いた健全性が示されています。事業実績では、物価高、燃料費高騰に対する独自政策を打ち出し、市民の生活を支えてきたと受け止めます。

決算審査特別委員会が出された質疑や意見を来年度予算編成時に大いに生かし、人口減少・少子高齢化という厳しい難局を市民・市議会・市が一丸となって乗り切り、今後も市民福祉の向上という命題を持ち、市民一人一人に寄り添う姿勢を堅持されることを期待します。

【賛成討論】 渡辺佳正議員

新型コロナ禍をPCR・抗原検査体制の充実、自宅療養者の生活支援などで大きな混乱を招くことなく乗り越え、市民要望に応える事業としては、補聴器購入費助成や住宅リフォーム宮クーポン事業など、必要な事業に必要な支出がなされている決算と評価します。

今後は、物価高騰やコロナ貸付金返済などで大変な市民の暮らしと営業を守る立場から、また、国が進めようとしている社会保障削減から市民の暮らしを守る防波堤として、適切な予算措置を求めます。

また、新型コロナワクチンの接種について、議員から提起された問題などで、市長の耳に届いていない市民の声に対しても、真摯に受け止めて誠実に答弁していただくことを要望します。

決算審査特別委員会

Check! 決算審査特別委員長の視点!

決算審査特別委員会 植松副委員長のコメント

今回の令和4年度決算審査特別委員会については、急遽副委員長である私が委員長の代役で委員会の議事を進めさせていただきました。

今回は改選後、初の決算審査特別委員会でありましたが、新人議員も積極的に質疑を行い、当局の行った事業について多くの確認をしました。令和4年度は、コロナ禍であり、コロナ関連の事業や市政80周年記念事業も多くありましたが、着実な事業執行及び予算執行が行われた事が確認できました。

財政調整基金の取崩しもありましたが、最終的にそれを上回る積立もしっかりと行われ、将来を見据えた未来に繋がる決算であったと感じます。



▲植松健一 副委員長

議員が注目した決算は、これだ!

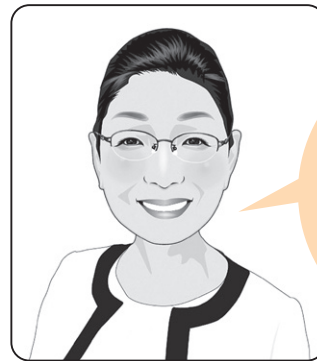
ふじのみや寄附金事業



佐野 寿夫 議員

年々寄附金が増額しており、受納額約42億円達成。今後に期待。

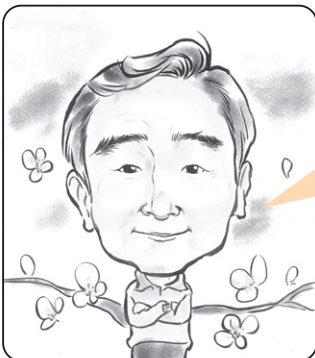
市たばこ税



近藤 千鶴 議員

9億4700万円もあり、昨年より約5000万も多いので驚きです。

市立病院事業会計



村瀬 旬 議員

医師不足解消も成りつつ、決算も黒字決算と成りました。

プレミアム商品券

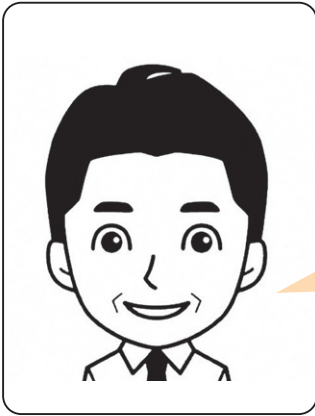


諏訪部 孝敏 議員

低迷している地域経済の活性化及び市民の暮らしを応援する施策。

議員が注目した決算は、これだ！

徘徊検索システム



赤池 弘源 議員

ご本人・ご家族が
安心して暮らせる
社会を願います。

ふるさと納税



白井 由紀子 議員

寄附金を活用した
関係人口創出に
繋げるまちづくり
ツアー開催。

補聴器購入扶助費



渡辺 佳正 議員

加齢性難聴者の
活動意欲に
つながり
認知症予防に
効果があります。

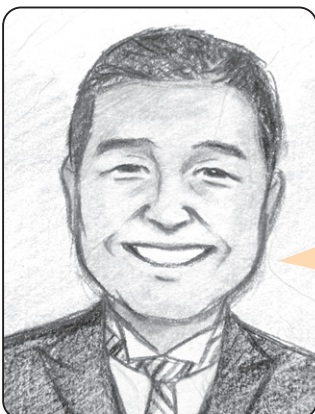
トップアスリート事業



平下 尚己 議員

一流選手から
学び更なる飛躍と
スポーツ人口増加
のため重要事業。

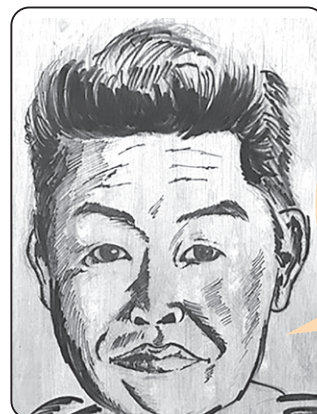
放課後児童健全育成



芦澤 秀典 議員

放課後児童クラブ
を千人以上が利用。
今後も児童の
健全育成に期待。

コロナ禍からの脱却



佐野 和彦 議員

各イベントで、
コロナ禍前の
活気を取り戻そうと
した試みは評価。

議員が注目した決算は、これだ!

物価高騰対策



中野 健太郎 議員

地場産業である
畜産業へ
独自支援。
粗飼料負担軽減
を行いました。

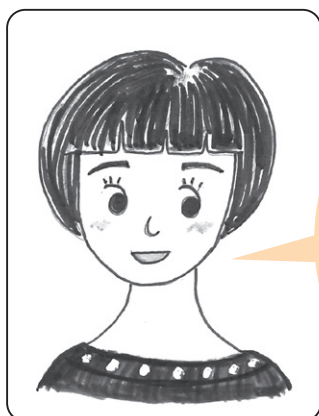
再生可能エネルギー推進



鈴木 弘 議員

ゼロカーボン
推進計画を
策定しています。
目標に
沿っているか。

予防接種事業



山藤 陽子 議員

子宮頸がん
予防接種人数、
1,914人。
さらに情報提供、
周知が必要。

26億7千万円の基金



辻村 岳瑠 議員

物価高騰に
賃金上昇が
追いつかない今が、
基金活用の
タイミング!

令和4年度決算



小松 快造 議員

令和6年度の
予算編成は
新たな飛躍が
できるような
編成を期待。

市制施行80周年記念



佐野 和也 議員

通年事業としても
盛り上がる
イベントの開催を
期待する。

議員が注目した決算は、これだ！

清掃総務費



齋藤 和文 議員

ごみダイエットプロジェクトで市民努力分が55tと判明。

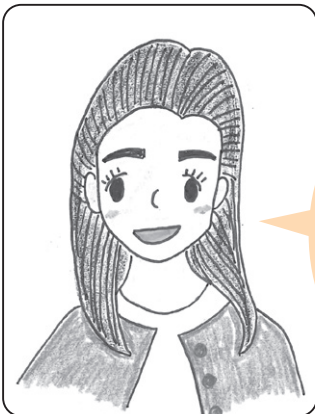
介護従業者の人材確保



仲亀 恭平 議員

頭を抱える課題の一つ。解決に向けた更なる支援を期待します。

芝川中学校校舎建築費



岩村 恵美 議員

少子化が進む中で、学校の在り方を考えていかなければならない。

ふじのみや寄附金



望月 芳将 議員

約42億4千万円と堅調。一方、堅実財源の確保も重要。

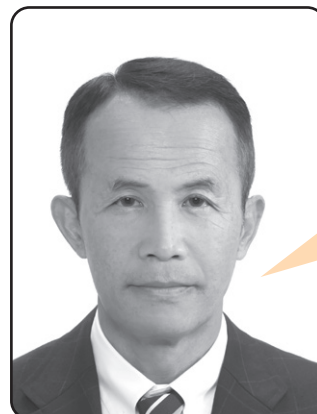
新規就農者育成



稲葉 晃司 議員

令和4年度に就農した方たちは根付いています。

非課税世帯等特別給付



植松 健一 議員

コロナの影響を受ける非課税世帯に1世帯10万円を支給。

議会運営委員会

齋藤 和文 委員長コメント

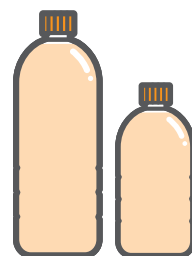


議会運営委員会では、各会派、無会派より議会改革の検討事項を聴取し、1年間かけて議論しています。

内容としては「本会議、常任委員会等への飲料の持込み（これまでは持込み禁止だった）」「議会選出各種委員の報告」「監査委員の任期」「当局側への資料の掲示方法」「ICTの利活用方法等2件」が挙げられました。

9月定例会前には飲料の持込みを許可する決定をし、試行的に9月定例会本会議、常任委員会等で実施しました。今後は施行後の検証を行い、傍聴席における対応も含め協議してまいります。

また、本年2月に総務省から「本会議に欠席している議員が、オンラインで一般質問を行うことは可能である」旨の通知がありました。このことについても、先進事例を調査し、本市議会に生かしてまいります。



総務文教委員会

鈴木 弘 委員長コメント

委員会付託案件である条例2件の審査と所管事務調査を2件行いました。

条例審査の対象は、新規条例である「富士宮市職員の修学部分休業に関する条例」とそれに関連する条例の改正についてでした。職員が公務の運営に支障がなく、かつ、公務に関する能力の向上に資すると認める時は、1週間当たりの通常の勤務時間の2分の1を超えない範囲内で休業することができるという内容です。多数の質疑、意見が出されましたが、全委員異議なく可決すべきものと決定しました。向上心を持って、大いにこの条例を活用してもらいたと思います。

また、所管事務調査では、「富士宮市DX推進計画の進捗状況について」を主に扱いました。市民サービスの向上、業務の質の向上が掲げられています。どう展開していくのかこれからが楽しみです。



環境厚生委員会

植松 健一 委員長コメント

今定例会における環境厚生委員会は、市立病院から経営状況についての定期事業報告を受けました。医師確保の状況については、昨年と比べて9月時点で整形外科の医師が1人の増員など、診療体制の充実が報告されました。

また、以前からの懸案事項である会計時における待ち時間短縮のため、11月6日(月)より自動精算機が2台設置されるとの報告がありました。待ち時間が短縮され、市民の不満の解消に繋がることを期待します。また、委員から病院経営について様々な質問が行われました。

病院の報告以外では、当委員会の政策課題である「プラスチックをはじめとするゴミのリサイクルについて」のための研究視察について、視察を行う先進事例箇所の内容についての確認を行いました。



産業都市委員会

村瀬 旬 委員長コメント

熱海市伊豆山で発生した違法な盛土による大規模土石流災害が、富士宮市でも決してあってはならないよう、県内の非常に悪質な事案について、函南町内と沼津市内の緊急度の高い不適切盛土の現地調査に行き参りました。

函南町内の不適切盛土現場は、住民説明会の内容と全く違った開発をされており、また沼津市内の不適切盛土現場では、無許可で住宅地域の裏側に残土が積み重ねられていました。

富士宮市においても条例違反の案件が数件あり、当委員会として市当局と一体となり解消に向けて、今後も継続して調査研究していきます。



▲函南町内の不適切盛土現場



▲沼津市内の不適切盛土現場

9月定例会の一般質問

19人の議員が、市の行財政全般についての執行状況や将来への考え方等を問い、適切に進んでいるかをチェックしました。また多くの議員は、市に対して施策の提言も行いました。

Topics 項目別の質問内容

議員はこんな内容を質問しています！

こども・学校教育 関係

- ・小中学校の教員不足 →P13
- ・放課後児童クラブ →P13
- ・小中学校体育館エアコン設置100%の是非 →P19
- ・女性用生理用品の設置 →P20
- ・包括的性教育の実践 →P20
- ・不登校から孤立化(ひきこもり)を防ぐ取組 →P22

産業関係

- ・富士山5合目レストハウス再建 →P15
- ・富士登山について →P15
- ・プレミアム付商品券 →P15
- ・西臼塚遊歩道整備 →P17
- ・観光事業について →P18

その他

- ・体育施設について →P13
- ・人口減少時代の市政運営 →P14
- ・万野風穴について →P15
- ・市街化調整区域の土地利用計画 →P16
- ・富士医療圏の630問題 →P16
- ・岩手県山田町との関係強化 →P17
- ・富士宮への「コウノトリ」飛来 →P17
- ・ウェルビーイング指標 →P18
- ・買い物弱者を救うための支援対策 →P19
- ・新型コロナウイルス感染症とワクチン接種 →P19
- ・気候変動に順応する市政 →P21
- ・ナラ枯れによる枯れた立木の処分 →P21
- ・自治会の行政協力業務と将来の方向性 →P21
- ・訪問理美容サービスの拡充 →P21
- ・静岡県への要望 →P22

防災・災害関係

- ・消防団について →P13
- ・福祉避難所の運用 →P14
- ・防災教育と防災訓練 →P17
- ・8月16日に芝川地区で発生した渋滞 →P18
- ・要援護者の避難行動支援 →P20
- ・地域防災計画と地域防災への女性の参画 →P20
- ・避難所運営について →P20
- ・福祉避難所運営と朝霧高原「防災道の駅」 →P21

交通・道路

- ・雑草繁茂対策 →P13
- ・地域交通のこれから →P14
- ・市内の道路環境 →P14
- ・万野2番堀、3番堀の暗渠工事 →P17
- ・除草の効率化と市職員の負担軽減 →P21

ごみ・環境・エネルギー

- ・再生可能エネルギーの導入 →P14
- ・プラごみ分別収集とその安全対策 →P14
- ・太陽光発電設備の適正管理 →P15

紙面の大きさの関係上、掲載しきれなかった項目

- ・英語教育について
- ・災害時の地域医療体制
- ・農業政策について
- ・「お達者度」について
- ・戦没者追悼式について
- ・避難所の体育館空調と非常用電源
- ・公共施設の長寿命化工事と改修

※一般質問の内容は、議員自身が9月定例会議事録に基づき記述しています。



あしざわ ひでのり
芦澤 秀典
(明和)

公立小中学校の教員の不足について

問 教員不足への取組は。

教育長 教員不足の対応は、県教育委員会の人材バンクを活用したり、すでに退職された教職員の方々に電話連絡をしたりするなどして対応しているが、人材の確保が難しいのが現状である。引き続き、県教育委員会と連携を強化しながら、緊急非常勤配置措置等を活用し、対応していきたい。

放課後児童クラブについて

問 放課後児童クラブを運営していくには、市としてどのような取組が有効と考えているか。

部長 市内の放課後児童クラブは、児童数や運営の仕方も育成会によって様々であるので、市がこういった取組が有効だと言うことは難しい。しかしながら、個々の育成会から運営等に

ついて相談があった場合は、その育成会にとってどのような運営の仕方が適しているのか、一緒に考え、助言をしている。例えば、育成会において保護者が慣れない事務仕事を行わなければならない、大変困っていると言ったような相談があった場合には、事務専門の職員を雇用したり、労務管理については社会保険労務士に、会計については、税理士や公認会計士に事務処理を委託したらどうか等の助言を行っている。

富士宮市の消防団について

問 消防団の充実強化のための今後の取組は。

部長 近年、特に震災を始め台風や集中豪雨による大規模な災害等、これまでの想定にないような大災害が頻発し、地域防災力の重要性が高まり、消防団のさらなる充実強化が求められている。今後も、消防団員の確保の取組を行い、団員を確保する。また、地域情勢や団員数を踏まえ、出動体制の見直しや分団の集約化及び統合詰め所の整備をして、消防力の強化を図っていきたい。



ひらした なおき
平下 尚己
(明和)

小中学校スポーツ夜間利用の活性化について

問 夜間利用を増やすための施策はいかがか。

部長 教室等で裾野を広げ人口を増やしたい。

問 現在の学校施設夜間利用において、2時間1こま設定を1時間1こま設定にできないか。

部長 今後スポーツ関連団体等からの要望等が多数あれば対応方法を検討したい。

外神スポーツ広場について

問 散水設備の利用状況と効果及び砂ぼこり被害についての所見について伺う。

部長 令和3年度に口径の大きな配管に整備したが、これまでサッカー団体が使用。更新の際にまた検討したい。砂ぼこりについては、強風が予報されている時には職員が事前に散水をする話が進められている。

市民テニスコートについて

問 人工芝劣化で張替の計画はいかがか。

部長 部分的に張替えているが、10年経つことから時期は明確にできないが張替時期を模索中。

問 観覧席への屋根の設置はいかがか。

部長 構造上、屋根の設置等は難しい。

問 バリアフリー化についてはいかがか。

部長 バリアフリー化は簡単には施工できないので、連絡先を分かりやすく掲示し、補助が必要な場合は職員を呼び出せるようにしたい。

山宮ふじざくら球技場のゴムチップについて

問 補充時期について伺う。

部長 年1回を目途に考えている。

要望 芝が寝ないように対応をお願いしたい。

市有地(車道・歩道等)の雑草繁茂について

問 定期的に市が草刈りをしているが、刈っても追いつかないのが現状である。いかに景観を守るのか伺う。

部長 防草シートや目地処理によるメンテナンスフリー化で対応していきたい。



※一般質問の内容は議員自身が9月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和5年9月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。

※部長名は、字数の関係上「部長」で統一して表記しています。



さの かずや
佐野 和也
(明和)

再生可能エネルギー導入について

問 富士宮市の公共施設における再生可能エネルギー発電の現状について。

部長 現在20施設に太陽光発電設備を導入し総量は19万3137kw/hで、令和4年度の公共施設全体の電力使用量の0.6%を賄っている。目標値に対する進捗率は1.1%である。

問 今後の導入計画について。

部長 2050年までに市域の二酸化炭素排出量実質0を目指し、発電の導入に向けて導入目標を定め段階的に取組を進める。

問 市内浄化センター及び浄水場に水力発電の導入を提案するがいかがか。

部長 費用対効果を得られず、独立採算制の原則を課せられた公営企業の経営という観点からも難しいと判断している。

地域交通のこれからについて

問 杉田3区、4区でおこなわれているカーシェアリングの補助について。

部長 地域の課題を地域の住民の方でディスカッションしながら解決していくというメソッドをつくりましょうということが、立ち上げであったため補助ということは行っていない。私も、立ち上げに参加しただけのため、その後どういった活動をしているのかというのは、社会福祉協議会の関係の方が知っているかもしれないが、私どもはそれが軌道に乗ったという判断で離れた。

富士宮市内における道路環境について

問 観光客にとって観光地も大事だが、そこに行き着くまでの道中も観光の一部であると思うが、路肩やガードレールが見えない雑草はマイナスイメージを与えると思うがいかがか。

部長 観光時期を見越して業務委託により対応し、市役所に要望があれば各道路管理者に情報提供を行い、対応してもらっている。



なかの けんたろう
中野 健太郎
(明和)

人口減少を前提とした市政運営について

問 人口減に歯止めが効いていない現実を受け止め、富士宮市第6次総合計画を策定すべき。

部長 現状、人口ビジョン策定時の将来推計より1000人程度減少が加速している。人口減少前提の取組、具体的にはデジタル技術を活用し、自治体DX(デジタル変革)を含む戦略、総合計画としていく。

問 AI(人工知能)やRPA(事務の自動化)、CIO(ITガバナンス)補佐官の導入は。

部長 AIチャットボットの活用など研究している。DXを進める中で足りない部分があったらCIO補佐官の活用も検討していきたい。

意見 人口減少対策でDX化は推し進めなければならない。対面とDXを組み合わせることで、市民サービスの維持に努めてほしい。

プラごみ分別回収について

問 プラごみ収集でリチウムイオン電池が原因の火災が全国で多発している。収集作業員の安全確保のためにも、来春の分別回収に合わせた拠点回収を始めるべきではないか。

部長 市民からの処分方法の問い合わせも多い。公共施設に回収箱を置くよう検討したい。

福祉避難所の運営について

問 特別な配慮が必要な方のための福祉避難所運営体制を定める検討会がコロナ禍によって滞っている。検討会を早期に再開できないか。

部長 現在の受入体制を調査、個々の施設と課題等について協議を進める予定。避難行動要支援者名簿の再作成に取り掛かっている。

問 施設が必要物資を揃えるのに国の緊急防災・減災事業債が活用可能。使えるものは使って、市として補助すべき。

部長 備品の保管場所を検討する必要がある。施設側と話し合いを進める中で、活用が必要か検討していく。

※一般質問の内容は、議員自身が9月定例会議事録に基づき記述しています。



うえまつ けんいち
植松 健一
(至誠)

富士山五合目レストハウス再建について

問 レストハウス再建に向けた状況について。

部長 「富士山富士宮口五合目来訪者施設整備事業」として静岡県が主体となって進めている。県は令和3年8月から建設候補地の測量調査及び地質調査を実施、令和5年度に入り設計者が決定し建築工事实施設計技術協力業務委託について公募型プロポーザルへの参加を公募したが、これまで応募がなく6月から手続きが止まっている。既に整地された旧レストハウス跡地や駐車場への場所変更も含め、整備計画の見直しを検討している。改めて本市、山小屋組合等、地元関係者をはじめ、環境省や文化庁などの意見を聴きながら早急に今後の方針を検討するとしている。供用開始については、引き続き令和10年度の完成を目指すことを確認している。

万野風穴の有効利用について（その2）

問 万野風穴の調査が、UZUME計画のシミュレーションプログラムとして行われることとなった経緯と現在の状況について。

部長 令和5年1月に今回の洞窟計測探査シミュレーションプログラムの総括である長崎県佐世保工業高等専門学校准教授から、万野風穴において実験用小型無人探査ローバーなどを使用した洞窟内部の測量実験を行いたいとの依頼があった。3月に実験が行われ、JAXAのUZUME計画に関連した計画であると認識した。

問 本市としてどのように関与していくのか。

部長 UZUME計画という、月や火星探査の未来を見据えたプロジェクトが本市に関わっていることは市民の知的好奇心に大きな刺激となる。また、万野風穴の学術的な価値を見つめ直す機会でもある。調査により安全性が確認できれば、風穴内の公開も可能となり市民の富士山火山の理解に貢献できる。形態は限定されるが、できる限り協力する考えである。



こんどう ちづる
近藤 千鶴
(キセキ)

太陽光発電設備の適正管理について

問 発電設備施設で問題や事故が発生した場合は、責任の主体は明確にされているか。

部長 発電設備施設の設置者または所有者。

問 緊急時に連絡が取れない場合はどこに。

部長 環境エネルギー室で受ける。

問 パネル廃棄の積立金を義務化しているが、富士宮市は何か対策をしているか。

部長 所有者がすべき、市としてはしていない。

問 ガイドラインに最低限のことがわかるチェック項目を設けることができるか。

部長 今後ガイドラインの在り方を検討する。

問 西小の近所を抑制区域にできないか。

副市長 現段階では難しい。

富士山登山について

問 入山料の義務化や入山規制はできないか。

部長 知事は、(仮称)安全快適な富士登山推進会議を設立する考えを示している。その中で議論や検討が活発化すると想定される。

意見 霊峰富士を守ってほしいという国民の声が多い反面、規制もせずに登らせてしまう行政にも問題があるという厳しい声もある。事故が起こる前に一步を踏み出してほしい。

プレミアム付商品券事業について

問 3割の世帯が買っていない現実を市はどのように分析しているか。

部長 買い忘れ等様々な要因。7割の方が購入したことは、期待度が高く大きな成果である。

問 1万円の購入費用が負担となり、購入を控えている市民がいることを市は考えているか。また、5千円にすることでより多くの市民が利用しやすくなる。その選択肢はなかったのか。

部長 総額44億円の経済効果がある。経済界からも期待があり現制度が最良であると考え。

市長 私の所に来る市民はうれしくてありがたいという話ばかり、買えないという人はいない。



※一般質問の内容は議員自身が9月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和5年9月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。

※部長名は、字数の関係上「部長」で統一して表記しています。



つじむら たける
辻村 岳瑠
(明和)

人口減少時代の市街化調整区域の土地利用について

問 市街化調整区域の土地利用の一つ、新清水インターチェンジ周辺地域の交通利便性を生かし、流通産業の導入を進めると構想はしているが、市の基本計画及び土地利用構想図には反映されない理由は。

部長 具体的な施策を定める土地利用計画については、新清水インターチェンジから内房までのエリアの大部分は、傾斜度が15度以上という診断などから、大規模な開発は課題がある。

問 具体的に土地利用構想図に落とし込めない理由は分級図だと思う。その法的根拠を伺う。

部長 法的に分級を行わなければならない、ということはない。

問 旧芝川エリアは防災・水資源のエリア分類

である。今後の森林整備の優先度は高い地域という理解でよいか。

部長 森林譲与税など考慮するような形にはなるかと思う。

問 2040年を見据えた芝川地域の土地利用構想に関して伺う。

部長 市街地のスプロール化を防ぎつつ、それぞれの集落の活力や独自性のある、各拠点形成とネットワークによる都市構造の実現を目指していく。

市長 国道469号の整備、清水富士宮線、道路網の整備も大事な一面である。いずれにしても、市街化調整区域を市街化区域にという思いは、私たちも同じである。共に力をあわせて頑張っていきたい。

意見 今後大きな変化である人口減少や経済縮小を考慮し、土地利用計画も変化する必要がある。第6次富士宮市総合計画では、芝川地域の西側エリアを活性化することが市全体の発展につながると考える。



いなば こうじ
稲葉 晃司
(無会派)

富士医療圏の630問題について～地域医療を守るために2023その1～

問 630問題の解消に向けた取組として、今、富士宮市ができることは何か。

病院長 静岡県内における630問題において、富士医療圏が突出して多いことは承知している。特に、受け入れ医療機関が減少する平日昼間の12時から14時までの時間が多く、この時間帯にファーストタッチできる体制の構築が必要である。市立病院の救急室は、初期救急医療を担う一時救急医療機関の後方病院として、2次救急医療機関の責務を果たすために24時間365日入院や高度な医療等が必要な重篤な患者の受け入れを行っている。また、1次救急で対応すべき患者の受け入れも2次救急患者の受け入れに支障をきたさない範囲で行っているが、630問

題が少しでも改善するよう、救急患者の受け入れに努めていく。また、富士医療圏の新富士病院やフジヤマ病院からも630問題に積極的に協力したいとの話をいただいているので、今後連携を図っていきたい。

問 救急かけはしの取組と成果はいかがか。

部長 救急かけはしの取組として、地域や福祉関係者に対して説明会や登録などの依頼を行っている。市民健康講座の開催や救急フェアにおいて、救急かけはしのブースを設置するなどして市民への周知を働きかけている。現在市のウェブサイト上で説明書や同意書をダウンロードできるようになっているが、今後、市内に住む高齢者のご家族が遠方にいる場合でも、容易に申請ができるように電子申請の受付も検討している。成果として、令和5年9月26日時点で2,574人登録され、救急隊が検索を行った際に該当者に情報が繋がった回数の割合が、令和4年度の2.7%から令和5年度現時点で9.4%と増加している。

※一般質問の内容は、議員自身が9月定例会議事録に基づき記述しています。



さいとう かずふみ
齋藤 和文
(公明会)

防災訓練と防災教育について

問 小学生、中学生、高校生の防災訓練参加について。

部長 地域の自主防災会には年2回の防災訓練実施依頼と計画書の提出をお願いしており、児童生徒が参加しやすい訓練を呼びかけている。日時や場所については、各学校に送付している。市では日頃より出前講座などの防災教育に取り組んでいる。災害に対する危機感と自助共助を、訓練を通して体験してもらう場と考えている。

教育長 災害はいつ起こるか分からないので、小学生のうちから自他の命を守るための適切な判断、実行する力をつける重要性、学校内で学習の時間に行う防災教育と防災訓練を関連付けることで、児童生徒が必要感を持って参加できるよう、引き続き呼びかけを行う。

問 国や県の出前講座や資料を使った防災教育を行う市内の学校はあるのか。

教育長 富士山噴火のハザードマップも出来たことで、噴火についていつかは取り組まないといけない。今後は富士砂防事務所への協力依頼は可能であり、学校の需要もあると考える。

岩手県山田町との関係強化について

問 市内イベント時に、山田町の物産コーナーを招致できないか。

副市長 まつりや多くのマルシェの計画があるので、市として集う仕掛けをつなぎ合わせ、企画していきたい。

市長 いろんな方々と相談して、物産展を中心に積極的に前向きに取り組んでいきたい。

コウノトリの飛来について

問 飛来した時の対応について(市民・行政)。

部長 飛来し目撃した時には近づかず静かに見守っていただきたい。今後飛来、営巣した場合は、コウノトリの郷公園などの専門機関に保護の方向性も含め相談しながら進めていく。



あかいけ ひろもと
赤池 弘源
(明和)

西臼塚遊歩道整備について

問 富士山自然休養林保護管理協会では、西臼塚周辺において枯損木の伐採実績があまりないように思うが、なぜこのような危険な状態にしたままなのか。

部長 しっかり県のほうで予算を取っていただいた中で対処してもらえるように、改めて申し入れのほうをしていきたい。

問 すっかり姿を変えてしまった、富士山山腹の自然環境にふるさと納税は使えないのか。

部長 個人からもらうふるさと納税については直接的にここにあてることはできない。企業版ふるさと納税については、国・県の下解があれば、メニューの1つとして企業に募集するのも1つの方法と考える。

市長 もう一度白糸の滝や浅間大社の周辺を

整備したように思い切って、中途半端な整備でなくてやり直して、がっちりと整備をしていく必要がある。



▲西臼塚山頂付近



▲2番掘

万野二番掘及び三番掘の暗渠工事について

問 2番掘の登山道より東側の一般道万野原新田64号線の最小幅員は、4.2メートルとなっており、車両のすれ違いが困難な狭隘箇所となっていることから、平成22年6月に該当箇所の暗渠化が事業化されたが、地元から賛成が取れなかったと聞いている。あれから10年以上たっているわけだが、もし地元の意見が取りつけられたらやってもらえるか。

部長 一度事業化したものなので、賛成が得られれば事業化は可能である。



※一般質問の内容は議員自身が9月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和5年9月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。

※部長名は、字数の関係上「部長」で統一して表記しています。



うすい ゆきこ
臼井 由紀子
(富岳会)

8月16日芝川地区で発生した渋滞について

問 当局が渋滞を知ったのはいつ、どのような方法で知ったか。

部長 運転している方や市民と思われる方から16日夕方頃、問合せの電話が数件あったことで渋滞が発生していることを確認。

問 公共施設の職員や住民が交通整理やトイレを貸していたようだが、具体的な活動を把握していたか。また、トイレ対策はいかがか。

部長 後日聞き取りをした際にそのような事実があった事は把握している。トイレの問題は難しいところで災害時に車で過ごす方も多くなるかと思うので、渋滞対策の一つとしても携帯トイレを車へ積んでおくことも大切であり、今後防災対策の一つとして防災グッズを車に入れておくことの啓発の必要を伝えていく。

市長 私も車の中には必ず携帯トイレを入れてあり、実際に使った経験もある。今後、芝川の大渋滞の例から、できるだけ非常用トイレを持ち歩くよう広報等で伝えたい。こうした質問を通して、危機管理はもちろん、優しさ、思いやり、助け合うことについての提言をいただいた。

副市長 新東名インターは山間部にある場所が多い、新東名で何か起きた場合はこういうことが起きる、そういう時に渋滞についての解決が行政的手段として難しい。しかし、何ができるかという研究の材料とさせていただきます。

問 渋滞に関して今後、住民と話し合いをする予定はあるか。

部長 災害時の避難方法が千差万別なので渋滞に関して持つ予定はないが、個別に自治会単位での出前講座などで対応をすることができる。

意見 今回の反省を踏まえ、住民からの通報方法や周知などをマニュアル化し、住民との情報共有をしっかりと行い、安心安全なまち、芝川地区でありたい。



すずき ひろむ
鈴木 弘
(至誠)

市民の幸福感を高めるまちづくりの指標、ウェルビーイング指標について

問 デジタル田園都市国家構想の実現に向け、ウェルビーイング指標というものが示されている。市はこの指標をどう捉えているか伺う。

部長 人々の価値観やライフスタイルが多様化する中、市民アンケートの調査結果を指標化した主観指標や、統計データを指標化し、分野間の比較に用いる客観指標の双方を活用して、市民の視点から、暮らしやすさや幸福感を数値化し、可視化することができる指標。政策分野の強み、弱みの特定が可能となり、市民の幸福感の状況がこれまで以上に把握しやすくなるなど、市政運営にも有効なものになると考える。

問 市はこの指標を活用して政策に生かす考えはあるか伺う。

部長 ウェルビーイング指標を次期総合計画の成果指標や総合戦略のKPIなどにも積極的に活用していきたい。

観光事業について

問 クレジットカードの購買データを観光行政に役立てている自治体が増えているという。富士宮市においても活用したほうがよいと考えるがいかがか伺う。

部長 どういったデータをどのように活用していくことが有効なのか、近隣市町や観光協会などの活用事例を参考に研究していきたい。

問 富士宮市でもシティプロモーションなど首都圏にアピールしているが、そういったデータを活用し分析すればその成果が分かり、次の施策を打ちやすくなるかと考えるがいかがか。

部長 戦略的な計画に活用するためのデータは有料になる。そのデータをどのように生かして、どういった事業に使っていくのかということころをまず精査してから取り組まなければいけないと感じている。

※一般質問の内容は、議員自身が9月定例会議事録に基づき記述しています。



なかがめ きょうへい
仲亀 恭平
(無党派)

**小中学校の体育館におけるエアコン設置率100%の是非について問う
～子どもたちを猛暑から守るために～**

問 市内小中学校体育館のエアコン設置率。

部長 0%。

問 エアコン設置コスト。

部長 約1億円/1棟(静岡市参考)。

問 ランニングコスト。

部長 約140万円/年間(試算)。

問 工事スケジュール。

部長 約2年/1校当たり
(調査・分析・設計に1年+工事期間に1年)。

問 エアコン設置率100%の実現に向けてロードマップの作成を提案するがいかがか。

部長 現時点では、体育館にエアコンを設置する必要性は低いものと判断している。

市長 熱中症にならないよう水分補給や体調管理を徹底することが大事だと思う。エアコン設置の必要性は感じているが、財政的な問題を解決しなければならない。

意見 富士宮市は猛暑対策として市内の小中学校の特別教室も含め、すべての教室にエアコンを設置してきた実績がある。だからこそ体育館もエアコン設置を進めていただきたい。子どもたち、保護者のみなさんの安心のために。

**買物弱者を救うための支援対策について
～Uber Eats(ウーバーイーツ)を富士宮エリアで利用可能に～**

問 フードデリバリーサービスが買物の環境の改善につながると考えるが、市の見解を伺う。

部長 将来的に地域の特性に合った配達方法が確立され、サービスニーズは増加すると考えている。民間事業者の動向を注視していきたい。

部長 福祉分野においては、サービスが普及することで、買物手段の選択肢が増える。結果として買物環境の改善につながると考えている。



いわむら えみ
岩村 恵美
(キセキ)

新型コロナウイルス感染症と新型コロナウイルスワクチン接種について

問 幼児を含む若い世代の新型コロナウイルス感染症患者で、重症化した報告は受けているのか。

部長 静岡県が調査し県のホームページに掲載されている資料から、新型コロナウイルス感染症肺炎の重症度分類は、軽症、中等症Ⅰ、中等症Ⅱ、重症の4段階に分類される。令和5年5月15日から9月3日までの中等症Ⅱ以上の内訳、全314人のうち10歳未満は1人、10歳代は1人、20歳代が3人、30歳代も3人。

問 2023年3月28日にWHOは、新型コロナウイルスワクチンの接種指針を見直している。有益性が限定的だとして、健康な成人らへの2回目以降の追加接種について推奨しないと発

表しているが、特に6か月から11歳の子どもたちに、この接種率から考えても接種券一斉送付の必要性がないと思われるが、いかがか。

部長 ワクチン接種については、国からの法定受託事務で実施している。積極的な勧奨をされているものについては、対象者の方全員に接種券を送付している。

意見 全ての新薬において薬害のリスクはゼロではなく、効果や安全性の評価が十分になされないまま開始されていること、短期、長期にわたって体にどんな影響を及ぼすかわからないことを、改めて考えていきたい。



出典:mRNAワクチン問題を追究する有志の会



※一般質問の内容は議員自身が9月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和5年9月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。

※部長名は、字数の関係上「部長」で統一して表記しています。



わたなべ よしまさ
渡辺 佳正
(無会派)

女性用生理用品を小中学校や公共施設のトイレ個室に設置することについて

問 昨年度から小中学校トイレに設置している富士市の取組を参考に、当市でも取り組んだらどうか。

市長 総合教育会議取りまとめ役の立場として、いろんな諸注意に対する対策を講じながら、なるべく早くトイレへの設置をやっていきたい。

部長 公共施設ということでは、まずは市役所本庁舎1階だと思っている。また、市民が訪れる場所として、交流センターについても前向きに検討していきたい。

人間の尊厳と人権の尊重を最優先にした包括的性教育の実践について

問 身体と生殖の仕組み、性交と避妊、人間関係、人権問題、性の多様性、幸福などのあらゆる

観点から性について総合的に学ぶ包括的性教育を学校教育や社会教育に取り入れていくことは非常に重要と考えるが、いかがか。

部長 日本のジェンダーギャップ指数の順位が116位と先進国で最下位になっている理由として、性による差別が様々な領域で存在していることや性に関する教育が不十分なことが要因と考える。ジェンダーギャップを埋めるために、性について幅広いテーマを包括的に扱う教育は有益と考える。

問 性教育を実施していくにあたり、専門家を招いて職員、教員を対象にした研修や講演会が大切だと考えるが、どうか。

教育長 要望があれば、家庭教育学級などの講座で取り組んでいきたい。

問 包括的性教育の大切な部分として、小中学校では女性の生理について男女の区別なく同じ場所、同じ内容で授業をしているのか。

教育長 養護教諭が授業者となって男女で学んでいる学校もある。



やまふじ ようこ
山藤 陽子
(公明会)

要援護者の被災後の避難行動支援について

問 高齢者等要援護者人数と支援体制は。

部長 要援護者は約1万4千名。避難行動要援護者名簿を作成し、自主防災会、関係者に事前に情報を提供していく。個別避難計画作成のため、本人同意の意向確認の通知を行っている。自主防災会及び民生、児童委員並びに近隣住民の助け合いによる避難行動支援の充実を図っていく。

問 救助が必要なことを知らせるSOSグッズを導入することは可能か。

市長 防災訓練を行うときに、隣近所の声かけ運動が大事だと思う。まずは自助、自分の命は自分で守ること。次に共助、隣近所へ助け合いが大事。市としては声かけ運動をもう少し徹底していきたい。助けてほしいというものを別に

作ってもいいのではと思う。市で検討していく。

地域防災計画について

問 地域に女性防災員を置いている地域があるのか。また、女性のための防災講座を開催する予定はあるのか。

部長 125区の自主防災会のうち70区、女性の登用があるとの報告がある。避難所運営において女性の参画が必要である。女性のための防災講座は予定していない。出前講座で我が家の防災対策メニューなど要望に合わせた講座を利用していただきたい。

避難所運営について

問 様々な立場に配慮したスペースづくりはあるのか。

部長 避難所運営は避難者の自主運営が基本。自主防災会を中心にしっかり話し合うことを市や施設管理者等がサポートしていくことが大切。身体負担を減らす配慮が必要な方の専用スペース設置を推奨している。

※一般質問の内容は、議員自身が9月定例会議事録に基づき記述しています。



さの かずひこ
佐野 和彦
(富岳会)

気候変動に順応する市政を考える

問 クーリングシェルターの案内やガイドブックなどできないか。

部長 法律の改正に伴い、必要に応じて検討していきたい。

問 熱中症になった場合の応急処置方法。

部長 衣類を緩め、日陰や冷房の効いた所に移動させ、氷のうや冷却パックを脇の下、太ももの付け根に当て冷却する。しかし、直に皮膚に当てないこと。水分補給は塩分が入っている飲料が好ましい。汗をかいていない時は霧吹きなどで濡らして、風を当てる。

問 救急要請が必要な時の症状は。

部長 熱中症には重症度分類があり、めまい、失神、筋肉の硬直は軽症。頭痛、吐き気、嘔吐、虚脱感、発熱40度未満は中等症。意識障害、け

いれん、運動障害、発熱40度以上は重症。中等症以上は救急要請が必要。

要望 これから寒くなるが、今の気候に合った市政運営は極めて重要、市民の安心安全を頼む。

除草の効率化と市の職員の負担軽減

問 道などの除草に高効率の作業車の購入はできないか。また、高温スチームの除草機械など先進的な除草する機械の購入について。

部長 今後、車の更新時期が来たらネクスコ等で使用している作業車を参考にしながら検討する。高温スチームの除草は、その効率性から市でも興味を持っているので、導入について検討していく。

富士根北部をはじめ、各地に点在するナラ枯れ等による枯れた立木の処分を考える

問 危険な状態の枯れた立木について、予防伐採も考えるべきだが、いかがか。

部長 原則土地の所有者の責任だが、大変危険で緊急措置が必要な場合は、民法第720条にのっとり対応していきたい。



さの としお
佐野 寿夫
(公明会)

道の駅朝霧高原「防災道の駅」の活用について

問 役割と防災時の活用について伺う。

部長 静岡県広域受援計画において、警察庁の広域進出拠点に指定され広域物資の輸送の防災拠点として計画されている。

問 本市としては。

部長 富士宮市地域防災計画で、広域的な防災拠点に位置づけ発災時に施設の利用者、観光客、道路利用者等に一時避難施設として、また、災害協定締結車両の集結地として提供することやヘリポートの提供などを想定している。

自治会の行政協力業務と将来の方向性について

問 自治会の行政協力業務は。

部長 各種委員の推薦や各種計画に対する意見聴取をはじめ、地域環境の維持、防災、防犯、福祉関係事業などへの参加、協力、選挙運営へ

の協力、道路河川工事や通行制限の確認など多岐にわたり、円滑な市政運営に多大な御協力をいただいている。

問 もし自治会がなくなった場合は。

部長 自治会や地域住民の協力なしに地域課題の解決や協働のまちづくりは実現しない。様々な行政施策が実施困難になる。

問 市の依頼業務の軽減について。

部長 副市長を筆頭とした自治会依頼業務等削減検討委員会を今年度組織し、市からの依頼業務の見直しを進めている。

副市長 自治会をなくさないためにも、行政側がやるべきことということで、大きい方針を持ち、その視点で取り組んでいる。

市独自の訪問理美容サービスの拡充をすることについて

問 年4回の理美容サービスの拡充は。

部長 今後も引き続きサービスの周知に努めるが、拡充は考えていない。



※一般質問の内容は議員自身が9月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和5年9月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。

※部長名は、字数の関係上「部長」で統一して表記しています。



もちづき よしまさ
望月 芳将
(無会派)

不登校から孤立化(ひきこもり)を防ぐ取組は

問 不登校の現状は。

教育長 令和元年度小中学校合計197名だったが、令和4年度は307名と増加傾向である。

問 ひきこもり者実態把握はされているのか。

部長 令和元年度に民生委員児童委員及び主任児童委員の協力を得て調査したところ、62人いる。国の調査が平成27年と30年に行われ、その調査を基に15歳から39歳までの出現率1.57%、40歳から64歳までの出現率1.45%で、市の現在の人口で試算すると1,122名と推計。

問 青少年相談センターに社会福祉士を配置しワンストップの窓口にしては。

部長 青少年相談センターは義務教育修了から39歳までの相談に対応し、関係機関につなぐことが目的。社会福祉士の配置は、相談センター

の目的と合致しないため配置は考えてない。

問 富士市の青少年相談センターを視察した。全体的にその人に寄り添った伴走型支援を行い、法に基づいた子ども・若者育成支援事業を行っている。富士宮市民からの相談も受けているようだが、当市はこの事業をどのように捉えているか。

部長 富士宮市としても福祉部門と連携を取り、一件一件丁寧に対応している。

意見 連携が取れているとの見方は行政の見方であり、相談者は不安を抱えているので次の窓口を紹介されても不安である。やはりワンストップの窓口が必要ではないか。また不登校者とひきこもり者の居場所づくりが大切だと思う。

静岡県への諸要望

問 猪之頭公園のキャンプ場への変更状況は。

市長 排水の問題で、公園は水源地としての役割があるため、キャンプ場断念の可能性もある。

問 東海自然歩道の倒木や落石等の整備は。

市長 強烈に県へ要望していく。

2月定例会の予定 2月8日(木)～3月18日(月)

日	月	火	水	木	金	土
2/4	5	6	7	8 開 会 施政方針	9	10
11	12	13 議案審議 議会運営 委員会	14 総務文教 委員会	15 環境厚生 委員会	16 産業都市 委員会	17
18	19 議会運営 委員会	20	21	22	23	24
25	26	27	28 議会運営 委員会	29 代表 質問	3/1 代表 質問	2
3	4	5	6	7 予算審査 特別委員会	8 予算審査 特別委員会	9
10	11	12	13 一般 質問	14 一般 質問	15 一般 質問	16
17	18 一般質問 議案審議 閉 会	19	20	21	22	23

◆定例会開催中以外にも、全員協議会、正副議長・正副委員長会議、会派代表者会議、議会だより編集委員会などが随時開催されています。

◆日程は変更になる場合があります。間近になりましたら市議会事務局にお問い合わせください。

TEL : 0544-22-1191

インターネット中継でも視聴できます。是非ご利用ください。



夫婦都市“滋賀県・近江八幡市”市議会親善訪問受入れ

10月26日、27日に夫婦都市である滋賀県の近江八幡（おうみはちまん）市議会と親善行事を行いました。親善行事では、近江八幡市議会の議員に、静岡県世界遺産センター、浅間大社、西山本門寺及び白糸ノ滝整備事業の視察などを行っていただきました。



▲世界遺産センター視察



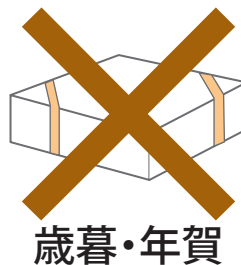
▲白糸ノ滝整備事業視察

議員の寄附行為の禁止について

公職選挙法の規定により、議員が不特定多数の市民に年賀状を出すことや、歳暮・年賀などの物を贈る寄附、地域への催し物へ寸志等を出すことは禁止されています。

また、議員に対し、寄附を出すように勧誘する、または要求することも法律で禁止されています。

皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



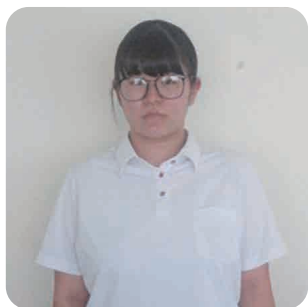


表紙の説明&



作者高校生紹介

表紙作成者紹介



▲田中みのりさん

私は今回、富士山とウソという鳥を描かせていただきました。富士山とウソは冬の富士宮市ならではのものです。

表紙題字作成者紹介



▲「笑顔のために」題字作者(左から、関萌衣さん、石田実桜さん、吉田陽菜乃さん)

この字は書道リレーとして3人で回しながら書きました。

「笑顔のために」の「笑」は英語の「smile」を工夫して当てました。

今回号の表紙は、富岳館高校に作成していただきました。次号(2/1発行)は富士宮東高校が作成してくれます。どうぞ期待ください！！

校風紹介(学校紹介)

こんにちは。富岳館高校生徒会です。

本校は総合学科であり、普通科では学べない専門的な分野も学べます。そのため、本校最大の特徴である7つの系列から自分の将来の夢に合った系列を選ぶことができます。

また、「地域寄り合い処」や「岳市楽座」など地元の方との交流イベントも定期的に開催されています。

これからも地域の人々に親しまれる富岳館を目指します。

(富岳館高等学校 生徒会長 石田実桜さん)

議会に一言



▲議会に一言いただいた生徒さん(左から、時田愛乗さん、石田実桜さん、新井琉杏さん)

市外からの来訪者の増加に伴い、排気ガスや放置ゴミ等が問題になっているそうです。市ではどのような対応をしていきますか。

議会に一言へのお返事と編集後記

●マイカー規制

『渋滞緩和』と排気ガスによる『環境問題対策』のため登山期間中マイカー規制を実施。

●看板の配布

市役所4階の生活環境課で『ポイ捨て・不法投棄禁止』看板を配布。

●ひろえば街が好きになる運動(JT主催)

さまざまな人たちとゴミをひろう『市民参加型の清掃プロジェクト』R5年は富士宮まつりの3日間実施。

富士宮市は、清潔で住みよいまちづくりのための活動をしています。

『ごみのないきれいな町』実現に向けて一緒に行動しましょう！

仲亀 恭平 委員

新型コロナウイルス感染症対策財源確保のため、今年度の議会だよりは、表裏表紙以外はフルカラー印刷から2色刷り印刷に変更されています。